

探究の指導と評価の計画例

高等学校 地学基礎

- ここにあげる評価規準の例は、授業の中で生徒の学習状況を把握し、指導の改善に生かすものである。
- この例を参考に、授業に合わせて基準を設けて評価を行う。
〔知・技…知識・技能、思・判・表…思考・判断・表現、主体…主体的に学習に取り組む態度〕

	指導計画	学習活動における具体的な評価規準の例	評価Aの例 (「十分満足できる」状況の例)	評価Bの例 (「おおむね満足できる」状況の例)	評価Cの場合の支援の例 (「努力を要する」状況の場合の支援の例)
探究実習2	p.72 探究実習2「高度と気圧・気温の関係」 【見通し】 自分の体験、あるいは今までに見聞きした話などから、高い山に登ったときに起こる変化について考えさせる。そこから大気圏の気圧や気温の高度による変化について興味をもたせ、自らの仮説を立てさせる。 ・ p.72 学びの視点 ・ p.72 考えてみよう ・ p.72 探究実習2 課題 ・ p.72 探究実習2 私の仮説	①-1 主体 高度と気温・気圧の変化の関係について、主体的に関わり探究しようとしている。	自分の体験、あるいは今までに見聞きしたりした話などから、高い山に登ったときに起こる変化の例を挙げて、課題を把握するとともに、課題を解決するという目的意識を常にもちながら取り組んでいる。	自分の体験、あるいは今までに見聞きしたりした話などから、高い山に登ったときに起こる変化の例を挙げて、課題を把握している。	・教科書p.72図5の夏の高山の写真や、エベレストに登頂する人の写真などを例に示し、標高の高い地点と低い地点の環境の違いを考えさせる。 ・密閉した菓子の袋を高い山に持っていくと膨らむという写真を示し、その理由を考えさせる。
	【活動】 資料に基づいて、高度と気圧との関係、高度と気温との関係を表すグラフを作成させる。 ・ p.72 探究実習2 データの収集 ・ p.73 探究実習2 方法 ・ p.73 探究実習2 結果	② 知・技 高度と気圧との関係、高度と気温との関係をグラフに表すことができる。	資料に基づいて、高度と気圧との関係、高度と気温との関係を表すグラフを、点の散らばりや点どうしの結び方を考慮して正確に作成している。	資料に基づいて、高度と気圧との関係、高度と気温との関係を表すグラフを作成している。	・教科書p.71図2を示し、気圧が高度によってどのように変化するかを思い出させる。 ・「私の仮説」をグループ内で共有し、意見交換させる。
	【整理・考察】 高度による気温の変化のグラフの傾きから、高度による気温の変化の割合を求めさせる。また、気圧や気温の鉛直方向の変化の特徴を考察させ、大気中の境界（圏界面）の存在を見いださせる。 ・ p.73 探究実習2 結果の整理 ・ p.73 探究実習2 考察	③ 思・判 ・表 高度による気温の変化のグラフから、高度による気温の変化の割合や圏界面の存在を見いだしている。	高度による気温の変化のグラフの傾きから、高度による気温の変化の割合を適切に求めるとともに、気圧や気温の鉛直方向の変化の特徴を変化の程度や仮説との整合性に言及しながら説明し、圏界面の存在を見いだしている。	高度による気温の変化のグラフの傾きから、高度による気温の変化の割合を適切に求めるとともに、気圧や気温の鉛直方向の変化の特徴を説明し、圏界面の存在を見いだしている。	・高度による気温の変化については、結果の整理①～④のどれを用いて求めればよいかを生徒同士で教え合わせたり、教師から示したりする。 ・高度と気圧との関係のグラフ、高度と気温との関係のグラフを比べさせ、違いを見いださせ、その違いを説明させる。
	【振り返り】 【見通し】～【整理・考察】を振り返り、自己評価を行わせる。 ・教授資料DVD収録 探究実習2ワークシート	④ 主体 探究の各過程において粘り強く課題の解決に向かう取り組みができたか振り返り、今後の学習や日常生活・社会に生かそうとしている。	探究の各過程における自己の取り組みを具体的に振り返り、課題の解決を科学的に行うために心がけたことや工夫、改善点などを挙げ、これらを今後の学習や日常生活・社会にどのように生かすのか具体的に考えている。	探究の各過程における自己の取り組みを具体的に振り返り、課題の解決を行なうために心がけたことや工夫、改善点などを挙げ、これらを今後の学習や日常生活・社会にどのように生かすのか考えている。	見通し～整理・考察までの流れにおいて、よく取り組めていたことを具体的に例示する。また、課題・仮説・考察が一貫していたかなどを問うたり、困ったことや難しかったことを挙げさせたりして、他者との意見交換を行わせる。
	【学習内容の理解】 大気圏の層構造について説明する。 ・ p.74 本文	⑤ 知・技 大気圏の層構造についての知識を身に付け、理解している。	大気の層構造について、各層を区別する基準や、各層の特徴についての知識を身に付け、日常生活との関連を図りながら理解している。	大気の層構造について、各層を区別する基準や、各層の特徴についての知識を身に付けている。	教科書p.74図6をノートなどに写させ、各層の名称の右側に、各層の特徴を箇条書きで整理させる。